

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123221080	マーケティング Marketing	今泉 充啓			2	選択	2前期
科目の概要							
売れる商品を作るためには、消費者のニーズを知ることが必要であり、そのために行われるのが「市場調査（マーケティングリサーチ）」です。この授業では、マーケティング理論に加え、マーケティング活動を行う際に必要となる社会調査法やデータの分析方法の基礎を学びます。ここでは、「人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる。」「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。」の2つのDiploma Policy(DP4・7)の実現を目指します。							
学修内容				到達目標			
① マーケティング戦略などのマーケティングの基礎知識を学ぶ ② 社会調査法を学ぶ ③ 回帰分析・主成分分析を学ぶ ④ 調査から報告までのプロセスを学ぶ				① マーケティングの基礎知識を説明できる ② データの種類や調査方法を説明できる ③ 目的に応じた分析方法を選択し、分析することができる ④ 分析した結果をまとめ、発表することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	学習した分析方法を授業で用いたデータで、授業以外でも再現することができる					
	働きかけ力						
	実行力	学習した分析方法を独自のデータで、授業以外でも再現することができる					
考え抜く力	課題発見力	学年末試験のレポートの課題を自身で見つけることができる					
	計画力						
	創造力	学年末試験のレポートの分析目的を明らかにすることができる					
チームで働く力	発信力	分析結果を発表することができる					
	傾聴力	教員の授業、他の学生の発言に耳を傾けることができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻をせず、授業に集中することができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。資料を適宜配布する							
他科目との関連、資格との関連							
この授業は、『ビジネス・地域活性の科目群』に属し、その後の「ビジュアルプレゼンテーション演習」や「イベントプロデュース演習」への応用が可能です。また、社会調査やデータを扱うための知識として「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」「リサーチリテラシー」と関わりがあります。また、分析するにあたり統計学知識が必要であるため「データ解析法」と関連します。資格としては「フードスペシャリスト」と関連します。							
学修上の助言				受講生とのルール			
Excelには、主成分分析の機能はついていません。従って、この授業では、これらの分析をExcel上でどのような手順で行うのか説明します。				予習・復習の課題の提出などにはClassroomを活用します。6週以上の欠席は授業放棄となります。遅刻・早退は20分未満とし、3週で欠席1週となります。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		90	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①				
			②				
			③				
			④				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学修した統計学的知識と分析手法を用いて、実際のデータを分析し、それをレポートとしてまとめることができるかを評価します。評価にあたっては、レポートに以下の要素が含まれているかを確認します。「分析の目的」、「データと変数の説明」、「分析方法とその結果」「考察」。これらがすべて適切に記述されており、特に分析結果に対して妥当な考察がなされている場合は、Sと評価します。</p>	<p>授業で学修した統計学的知識と分析手法を用いて、実際のデータを分析し、それをレポートとしてまとめることができるかを評価します。評価にあたっては、レポートに以下の要素が含まれているかを確認します。「分析の目的」、「データと変数の説明」、「分析方法とその結果」。これらすべてが適切に記述されており、特に収集したデータに対して妥当な分析が行われていると判断される場合には、Bと評価します。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス ・授業の進め方, 出席確認, レポートについて, 評価方法をシラバスを用いて説明する 統計データに触れてみよう *Web上に公開されているデータの入手先としてe-Statなどのサイトを訪れてみる	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	自分の望むデータが得られる調査先を突き止め, Web上からそのデータを手に入れることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
2	統計データとは? *Web上に公開されている調査を見ながら, 変数と変量, 連続と離散, 母集団と標本など統計学用語を学ぶ。また, 社会調査の種類や調査方法, 抽出方法など社会調査に関連する用語についても学ぶ。	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	授業で説明した統計用語と社会調査に関連する用語を説明できる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
3	Excelを使ってみよう! *平均値, 中央値, 最頻値など基本統計量の意味を理解し, Excelを使って実際のデータから求める方法を学ぶ。また, データからヒストグラムを作成する方法を学ぶ。	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	授業で説明した基本統計量(平均値, 中央値, 最頻値, 最大値, 最小値, 分散, 標準偏差)を説明することができる。実際のデータから求めることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
4	回帰分析① *単回帰分析の目的と活用方法を学び, 実際のデータを用い, Excelでの実行方法を理解する	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って, 配布資料の解説を見ながら単回帰分析を行うことができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
5	回帰分析② *重回帰分析の目的と活用方法を学び, 実際のデータを用い, Excelでの実行方法を理解する	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って, 配布資料の解説を見ながら重回帰分析を行うことができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	80	主体性 実行力 規律性
6	回帰分析③ *量的データと質的データの違いを理解し, 分析で用いる変数の作り方(ex. ダミー変数)を学ぶ。また, 実際のデータを使って, 自分自身で分析する。	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	量的データと質的データの違いを説明でき, ダミー変数の作成方法, 分析での使い方が分かる。また, 与えられたデータを使って回帰分析を実行することができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
7	主成分分析① *主成分分析の目的と活用方法を学び, サンプルデータを用い, Excelでの実行方法を理解する	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って, 配布資料の解説を見ながら主成分分析を実行することができる。各成分の意味付けができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
8	主成分分析② *サンプルデータを使って, 自分自身で分析する。	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って, 配布資料の解説を見ながら主成分分析を実行することができる。各成分の意味付けができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	時系列分析① *Zチャートの活用方法を学ぶ	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って、配布資料の解説を見ながらZチャートを作成し、分析することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
10	時系列分析② *ファンチャートの活用方法を学ぶ	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って、配布資料の解説を見ながらファンチャートを作成し、分析することができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
11	ABC分析 *ABC分析の目的と活用法を学び、実際のデータを用い、Excelでの実行法を理解する。	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って、配布資料の解説を見ながらABC分析を行うことができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
12	レポートの作成に向けて—Excelによる解析①— *最終レポートのため、自分で入手したデータを使って分析を行う	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	分析目的に応じたデータを収集し、適切な分析を行うことができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
13	レポートの作成に向けて—Excelによる解析②— *前回のつづき	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	分析結果や基本統計量など、レポートに必要な図・表を作成できる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
14	まとめ *データ分析手法を見直す	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	取り上げた分析の手法について説明することができる	(予習) 今までの資料を見直し学修内容を確認しておく (復習) 提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	レポートの作成に向けて *スライド資料を作成する	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	PowerPointを用いて、スライドを作成することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力